

新型コロナウイルス対策にかかわる申し入れ

八千代市長 服部友則 様

2020年4月1日
日本共産党八千代市議団

国内外での新型コロナウイルス感染が拡大し、千葉県内でも東庄町の障がい者福祉施設で集団感染が発生し、市民の不安も拡大しています。

八千代市では感染者が出ていないが「PCR検査をしていないからではないか」「いつまで続くのか」との不安の声だけでなく、国からの支援や休業補償をはじめ光熱費や納税など収入減による将来的な不安を募らせています。

市の情報発信をはじめ、市民の声に丁寧に応える市の姿勢を改めてお願いします。

緊急に以下の点の改善を求めます。

1. 市民への情報発信

- 1) 納税の猶予
- 2) 国民健康保険料や資格証明書の方の対応
- 3) 上下水道料金の猶予
- 4) 融資の支援

上記の対応だけでなく、助成金や支援金など市民生活を応援できる手段を知らせること。

2. 情報発信の方法

市民へ知らせる手段にホームページのトップページへの掲載だけでなく、広報や回覧板など、あらゆる形で周知をするように求めます。

3. 新型コロナウイルスによる影響かどうかの判断の聞き取り段階で、市民の相談を打ち切ることの無いように丁寧な対応を求めます。

以上